

# 人権コラム 心、豊かに

## ◆ まずはあなたの一歩から

4月25日は、「世界ペンギンの日」。毎年、この日の前後にアデリーペンギンがアメリカの南極基地に姿を現すことをお祝いしたことから、ペンギンの記念日となったそうです。

ペンギンは肺で呼吸をし、殻のある卵を産み、羽毛があるので鳥類に分類されますが、空を飛ばません。翼は「フリッパー」と呼ばれるヒレのようになっていて、泳ぐときにのみ使われます。また、ペンギンの群れには、猿などに見られるようなボス、つまりリーダーは存在せず、「最初に動いた1羽に追従する」という習性があります。群れが危険に遭遇した場合、リーダーの指示ではなく最初の1羽が率先して動いて安全を確認。それを見たほかのペンギンたちがあとに続くことで、群れ全体はその危険を回避します。

そして、危険を顧みず、真っ先に動いた（餌を求めて海に飛び込む際に、最初に飛び込む行為も含みます）ペンギンは、「ファーストペンギン」と呼ばれます。ドラマなどでも取り上げられているため聞いたことがあるかもしれませんが、「リスクのある新分野に最初に挑戦する人」のことを指す言葉として多用されています。

人権を尊重する考え方を広めていく上でも、この「ファーストペンギン」は重要です。行動した方が良いのではないかと考えているのに「大きなお世話だと嫌がられるかも」、「誰も賛同してくれないかも」などと考えてしまい、行動に踏み込めないことがあります。そんな葛藤を乗り越え、「最初の1人」が行動することで、周囲に良い影響が広がっていくのではないのでしょうか。

本物のファーストペンギンは、自ら進んで飛び込んでいるというより、群れの端にいる1羽が押し出されて飛び込むことが多いようですが、私たち人間は勇気を持って、自分にできる範囲の「最初の行動」に進み出せるはずです。